

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 35

事務事業名	県央地域広域市町村圏組合負担金
-------	-----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市長公室		
課名	安全対策課		
課長名	田中 勝保	内線	216
担当者名	吉岡 真実	内線	217

基本目標		安全・安心なまち
政策	030201	消防・救急体制の充実
施策		消防・救急体制の充実
関連施策		

会計	一般会計		
款	9	消防費	
項	1	消防費	
目	1	常備消防費	
事業コード	020100		

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市民		
意図 対象をどのような状態にしたいか	災害等から身体・生命及び財産を保護する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	常備消防を整備する。(県央地域広域市町村圏組合の3市・諫早市、大村市、雲仙市の消防・救急に関するもの)		
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	消防組織法 県央地域広域市町村圏組合格約・条例等		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 消防施設数(消防署・分署等)	計画値	13	13	12	12	
		実績値	13	13	12		
	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
	② 消防車両等数	計画値	60	60	64	65	
実績値		60	60	65			
達成度	%	100.0%	100.0%	101.6%			
成果指標	①	計画値					
		実績値					
	達成度	%					
	②	計画値					
		実績値					
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	645,703	667,953	797,438	835,769	860,974	835,769	835,769	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	645,703	667,953	797,438	835,769	860,974	835,769	835,769	
② 人件費(千円)	79	71	71	73	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	災害等から身体・生命及び財産を保護する。	災害等から身体・生命及び財産を保護する。	災害等から身体・生命及び財産を保護する。	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	645,782	668,024	797,509	835,842				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	負担金の支出によって広域圏における常備消防が確保された。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	災害等による市民の生命・財産を守るために必要不可欠である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	災害等による市民の生命・財産を守るのは市の責務である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	出動体制、保有する消防車両、専門要員の確保など小規模消防では維持管理や財政運営面で限界があるが、広域消防では十分な体制が整えられ、住民サービスの向上につながっている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	消防署の配置や管轄区域の適正化により、現場到着時間の短縮など初動体制の強化、専門要員の増強等消防体制の効率化が図られている。また、重複施設等への経費の削減につながっている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	広域処理のため、経費の削減、合理化が図られている。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	負担金額及び負担割合は、各市の人口などを基に構成する市で協議し、県央議会の承認を受け決定されているので適正である。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	特に広域体制の見直し等もないため、現状維持とする。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。